

## 北九州市中小企業振興条例の推進について

### 1 中小・小規模企業振興の考え方

本市の中小・小規模企業の振興にあたっては、平成27年4月に施行された「北九州市中小企業振興条例」や平成25年3月に策定した「北九州市新成長戦略」に基づき、総合的で効果的な支援策を実施する。

### 2 中小企業振興条例の周知等について

時 期	内 容
平成27年1月	中小企業支援情報誌「ネットワーク北九州（3,500部）」の1月号に条例概要を掲載
2月	北九州市ホームページに条例概要を掲載
3月	条例PRパンフ（10,000部）の作成・配布
5月	中小企業支援施策ガイドブック（6,000部）の作成・配布
8月	8月15日号の市政だよりに条例概要を掲載
随時	● 中小企業団体等への出前講演 ● セミナーや各種広報媒体を活用した市民・企業等への周知

### 3 中小企業の実態把握（意見聴取）の状況

#### （1）中小企業等のヒアリング

実施日：平成27年5～6月  
実施件数：56件（31社、25団体）  
主な意見：別紙1

#### （2）中小企業団体（北九州中小企業団体連合会）との意見交換

開催日：平成27年7～8月  
開催回数：5回  
主な意見：別紙2

#### （3）中小企業振興協議会

開催日：平成27年8月26日（水）14:00～16:00  
開催概要：別紙3

## 4 中小企業振興策の実施状況

### (1) 主な中小企業振興策（平成 26 年度）・・・別紙 4

### (2) 主な新規中小企業振興策（平成 27 年度）

- ・小規模企業の振興を図るため、「小規模企業者支援資金」「小口事業資金」の融資利率引き下げ及び小規模企業相談窓口の開設
- ・女性・若者等の創業を支援するため、開業支援資金融資に「女性・若者・シニア特別枠」を創設し、融資利率の引き下げなどを実施
- ・個人消費を一層喚起し、商店街をはじめ地域経済の活性化を図るため、市や商店街等が実施する「プレミアム付商品券」の発行及び発行の支援
- ・高校生や大学生等を対象に、中小企業を含む地元企業への就職を促進するキャリア教育イベント（北九州ゆめみらいワーク）の開催
- ・北九州商工会議所、（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）、北九州市の3機関の支援メニューや条例の趣旨等を広く情報発信するポータルサイト『キタサポ』を共同作成

## 5 条例の趣旨を踏まえた今後の活動

### (1) 実態調査・意見交換会の実施

中小企業者や中小企業団体を対象にして、現状における課題や期待する支援策などについてアンケート調査やヒアリング調査、意見交換会等を実施し、中小企業の実態把握に努める。

### (2) 中小企業の意見の反映

中小企業等から聴取した意見や要望等を次期「北九州市新成長戦略」や平成 28 年度予算に反映するよう努める。

### (3) 関係機関との連携による事業実施

中小企業支援事業の実施にあたって、北九州商工会議所などの中小企業支援機関等と効果的な連携を行う。

### (4) 中小企業支援策の拡充

市内中小・小規模企業者の振興に資する支援策の拡充を図る。特に、小規模企業については、中小企業支援策を活用できるよう施策のPRや丁寧な説明に努める。

### (5) 実施状況等の報告、公表

議会や市民等へ施策の実施状況等を報告・公表するとともに、市民や児童生徒等に対して中小企業の果たす役割の理解を求めていく。

## 中小企業振興条例にかかる中小企業等のヒアリング結果

- 1 ヒアリングの期間 平成27年5月8日（金）～6月4日（木）
  - 2 ヒアリングの件数 56件（31社、25団体）  
内訳：製造業：9社、卸・小売：7社、飲食・サービス：15社  
中小企業団体：25団体
  - 3 ヒアリング結果（主な意見）
    - (1) 経営状況
      - ・仕事はあるが、コスト面は厳しい（製造業）
      - ・仕事量があり、各企業とも忙しい状況（製造業系組合）
      - ・仕事はあるが、儲けはあまりない状況（建設業系団体）
      - ・去年は、LEDや太陽光関係の各種補助金の効果もあり、比較的多忙。今年になって、仕事は減少傾向である上、人件費が高くなり、コストを圧迫（電気工事系組合）
      - ・やや悪化。各店舗とも消費税の増税後に落ち込んだ売上が回復していない。（商業系組合）
      - ・個人宅等の仕事が減り、やや厳しい（清掃業）
      - ・非常に良い。売上が当初計画の200%（IT）
      - ・順調。創業以来最も業績が良い（飲食業）
      - ・消費税増税以前は良かったが、増税後は落ち込んでいる。（不動産業）
      - ・婚礼部門の実績の落ち込みで、状況としては良くない（ホテル業）
    - (2) 経営課題
      - ・各業種とも人手不足、高齢化（後継者問題）を課題として回答
      - ・卸、小売業は、仕入れ価格の上昇も回答
    - (3) 今後、強めていく活動や分野
      - ・生産性向上のための設備投資（製造業）
      - ・人材の育成や確保（建設業）
      - ・販売ルートの開拓、海外での販売（小売業）
    - (4) 市に望む支援
      - ・設備投資に対する補助（製造業）
      - ・正社員の多い会社を公共工事参入で優遇（建設業系組合）
      - ・人材の育成や確保に対する支援（製造業）
      - ・初期投資（イニシャルコスト）に対する支援（サービス業）
      - ・リノベーションの助成制度（不動産業）
- など

## 北九州中小企業団体連合会との意見交換

### 1 北中連建設関連部会

- ① 日時 7月22日(水) 13:30～15:00
- ② 場所 商工貿易会館 701会議室
- ③ 出席者 建設業組合など6名
- ④ 主な意見
  - ・景気の回復に伴って仕事量は増えている。
  - ・建設業は給料が上がるなど処遇改善の姿が見えないと若い人は入ってこない。
  - ・若者は、快適で自己実現ができる環境を好み、汗をかいて働く現場(世の中のためになる)を疎んじる傾向がある。
  - ・年度末に仕事が集中するとあらゆる工事の下準備となる足場工事がさらに集中する。また、関東、東北の賃金の高い仕事に人が集中するので、市内も人手不足となる。

### 2 北中連金融税制委員会

- ① 日時 7月22日(水) 15:00～16:30
- ② 場所 商工貿易会館 701会議室
- ③ 出席者 工業系組合など6名
- ④ 主な意見
  - ・税金は公平でなければならないが、都市だけにかかる事業所税は不公平だと感じる。
  - ・ワークライフバランスも重要だが、中小企業には厳しい部分もある。
  - ・円安により、一部国内調達に変更する大手もあるが、値が下がったままなので、利益が出ない。

### 3 北中連サービス業その他部会

- ① 日時 7月27日(月) 13:30～15:00
- ② 場所 商工貿易会館 701会議室
- ③ 出席者 サービス業系組合など5名
- ④ 主な意見
  - ・経費を圧縮するために高い賃金は払えない。高所作業など若手ではないとできない作業もあり、営業活動にも影響が出ている。
  - ・3K企業に人材が集まらない。必要な仕事に人手が足りていなければ、賃金ベースも上がっていくはずだが、必ずしもそうっていない。

#### 4 北中連商業部会

- ① 日時 7月27日(月) 15:00~16:30
- ② 場所 商工貿易会館 701会議室
- ③ 出席者 商店街組合など6名
- ④ 主な意見
  - ・プレミアム商品券発行事業は、沈滞する商店街の活性化に大いに貢献している。
  - ・商店街での活動をしやすい環境を作るために特区を取得し、アーケード内の車両通行や複合ビルの建設など柔軟に対応できるようにしてほしい。
  - ・多くの商店街では、後継者育成と事業継承は存続に係る大きな問題となっている。講師派遣による研修会や講習会の開催に加え、市内若手経営者の交流の場を設けるとともに商店街青年部の連合組織を復活させるための支援をしていただきたい。
  - ・商店街等が地域の活性化のために実施するイベントなどで活用する道路の規制を緩和するとともに、使用料の減免と手続きの簡素化を図っていただきたい。

#### 5 北中連工業部会

- ① 日時 8月5日(水) 17:00~17:30
- ② 場所 ホテルニュータガワ 2F会議室
- ③ 出席者 工業系組合など16名
- ④ 主な意見
  - ・大企業と中小の差が広がっている。優秀な人材はますます大企業に流出し、中小に人が入らない。
  - ・一過性の事業ではなく、設備投資に対する補助など継続性のあるものに支援してほしい。
  - ・工事受注の条件が厳しくなり、一人親方などの中から廃業する人が出ている。

## 平成 27 年度 中小企業振興協議会（第 1 回）について

日 時：平成 27 年 8 月 26 日（水） 14:00～16:00

場 所：北九州テレワークセンター 会議室 A

出席者：中小企業団体 4 名、中小・小規模企業 4 名、金融機関、大学、労働団体各 1 名、  
F A I S、北九州市

### 1 次 第

○開会あいさつ

○報告・説明

・「北九州市中小企業振興条例」の推進について（事務局より説明）

・中小企業振興にかかる取組及び課題について（各参加者より発言）

○意見交換ほか

### 2 参加者からの主な意見

- ・実態調査や意見交換を行う会議（円卓会議等）の開催、行政を横断する中小企業関係組織の設置等を要望する。
- ・大学や高専等とのマッチングなど産学官連携の機会を増やすよう、行政と一緒に取り組みたい。
- ・円安による原材料の高騰や長引くデフレの影響による消費者の低価格志向、人材不足などの経営課題がある。海外市場への販路拡大や製造ラインの高度化・効率化などをサポートして欲しい。
- ・学生の新しい考えや商店街を外から見た意見を取り入れて、商店街を元気にしたい。
- ・ワークライフバランスや女性の活用などが中小企業にとって重要。
- ・ものづくりの力を発揮するために、デザイン力の強化が必要。
- ・人材開発として、インターンシップに取り組んでいる。学生にとっても企業にとっても最良な形になるよう大学と連携したい。
- ・働く者の安心・安定に向けた企業運営について、皆で考えていただきたい。
- ・金融機関として、地方創生への参画や事業承継、創業支援などに取り組んでいる。

#### 【事務局（まとめ）】

- ・今回の意見を参考に、各団体の取組を進めていただきたい。また、他の機関と連携を希望される場合は、市がコーディネートするので相談いただきたい。
- ・市としては、今日の意見を新成長戦略や来年度の予算に活かしていきたい。
- ・次回の開催については、今日いただいた意見、言い足りなかった意見を集約し、アドバイザーと相談の上連絡する。

# 北九州市における主な中小企業振興策

別紙 4

単位：千円

	事業内容	26年度の主な実績	26年度決算額
(1) 経営に関する相談対応	① 窓口相談、専門家派遣、情報提供 (公財)北九州産業学術推進機構中小企業支援センターにおいて、市内中小企業者や創業予定者などを対象に、経営に関する窓口相談、経営課題解決のための専門家派遣などを行っている。また、事業経営に役立つさまざまな情報提供を行っている。	窓口相談：677件 専門家派遣：延べ81回 広報誌発行：毎月3,500部 メールマガジン：1,066件	22,593千円
	② 巡回相談 中小企業支援センターの巡回専門相談員が直接企業に出向いて、各種相談に応じながら支援施策等を紹介している。	企業訪問：282社	3,240千円
(2) 円滑な資金調達の支援	中小企業向け融資 中小企業の円滑な資金調達を支援するため、通常の事業資金、セーフティネット対策の運転資金、企業の成長を支援する資金等を融資している。	新規貸出：3,274件、 約282億円	456億円
(3) 研究開発・技術開発の支援	中小企業技術開発振興助成金 市内で新技術・新製品などの研究開発を行う中小企業者、中小企業団体等に対して、研究開発にかかる経費の一部を助成している。	中小企業技術開発振興助成金 件数：6件	15,771千円
(4) 受注拡大・販路開拓の支援	① トライアル発注制度の実施 (北九州発！新商品創出事業) 地元中小企業が開発した新製品を市が認定し、その新商品を市が試験的に購入することにより、当該企業の販路開拓を支援している。	認定件数：2社、2商品	1,236千円
	② 大規模展示会への出展支援 ア 関東・中京・関西で開催される大規模な展示会等の出展小間料の一部を助成している。 イ 大都市圏で開催される展示商談会等へ共同出展し、広域的な技術連携や販路拡大等を支援している。	ア 助成件数：11件	3,218千円
		イ 出展社数：23社	10,652千円
	③ 北九州オンリーワン企業の認定・支援 北九州発の独創的な製品や技術、サービスを提供する優れた中小企業を「北九州オンリーワン企業」として認定し、広く情報発信、プロモーションを行っている。	第1回(21年度)：3社 第2回(23年度)：5社 第3回(25年度)：6社	738千円
④ 中小企業のビジネスマッチング支援 地元中小企業と大手企業とのビジネスマッチングを図るため、商談会の開催や中小企業支援センターのコーディネーターによる仲介等を行っている。	商談会：4件 個別マッチング：87件	192千円	

(5) 創業支援	① セミナー、窓口相談、開業支援資金融資、 専門家派遣 創業者の創出・育成を図るために、計画段階で知識・ノウハウ等を学ぶセミナーや事業計画の作成等に関する窓口相談、創業段階での資金支援、創業後の専門家派遣など、各段階に応じた支援を実施している。	セミナー：5件 窓口相談：134件 専門家派遣：延べ20回  開業支援資金融資：49件	22,593千円  (融資預託金) 126,700千円
	② インキュベーション施設の運営 市内5ヶ所にインキュベーション施設を運営するとともに、企業育成のための専門家(IM)を配置し、経営支援を行うなど、スタートアップ期の創業者支援を実施している。	入居社数：27社	131,005千円
	③ ベンチャースクールの開催 新たな事業にチャレンジする起業家を掘り起こし育成するため、成功起業家を招いたセミナーやワークショップを開催している。	受講者数：3回(4日間)で 46人	1,514千円
(6) 商店街の 振興	① 活性化計画づくりの支援 商店街の活性化に向けた販促等の勉強会への専門家派遣や、商店街の活性化計画の策定など、商店街自らが行う取組みに対して、経費の一部を助成している。	支援件数：1件(全10回)	1,369千円
	② イベント等の賑わいづくりの支援 商店街の賑わいづくりのためのイベントやガイドマップ作成等の情報発信、共同宅配事業などについて、立ち上げ時の経費の一部を助成している。	支援件数：4件 ※その他、国の支援制度を 活用した件数21件	1,595千円
	③ 商店街プレミアム付商品券の発行支援 商店街がプレミアム付商品券を発行する場合、事務経費やプレミアム分の経費の一部を助成している。	支援件数：1件 ※その他、福岡県の支援制度 を活用した件数26件	229千円
	④ 商店街空き店舗活用支援 商店街の賑わいや活力を生み出すため、商店街の空き店舗へ出店する事業者には賃借料または改装費の一部を助成している。	支援件数：14件	4,818千円
	⑤ 中小企業団体共同施設等設置補助 中小企業団体が共同施設等を設置する場合には、必要な資金の一部を助成している。	支援件数：12件	7,694千円
(7) 人材確保、 人材育成	① 就職求人情報の発信(しごと☆まるごと 情報局) 中小企業の多様な人材ニーズに応えるために、市内外の求職者の就職に関する情報を発信している。	アクセス件数 ：942,378件	2,401千円
	② 企業と求職者とのマッチング 企業と求職者とのマッチング支援を行っている。	若者ワークプラザ北九州 (小倉・黒崎の計) ：利用者数16,891人 ：就職決定者数：1,102人	80,500千円

	<p>③ 若年者雇用創造チャレンジ!!事業 市内企業の新分野進出等に伴い、若年求職者を正規雇用した場合に、当該人件費の一部を助成している。</p>	雇用実績：15名	12,796千円
	<p>④ 経営管理、事業承継、技術者養成等のセミナー・講習会の実施 経営管理、事業承継、技術・技能の養成等のセミナー・講習会を開催している。</p>	セミナー開催件数：20件	5,787千円
	<p>⑤ 中小企業大学校直方校の受講料補助 中小企業大学校直方校に研修生を派遣する中小企業者または中小企業団体に対して、受講料の一部を補助している。</p>	受講料補助件数：34件 (19社)	632千円
(8) 中小企業の受注機 会の増大	<p>① 公共工事等における地元企業への優先発注 公共工事の発注に当たって、中小企業がほとんどを占める地元企業への優先発注を基本とし、発注方法についても、可能な限り分離分割発注に努めている。 また、公共工事受注者に対して、下請人や資材・原材料等を地元業者から選定するよう要請している。 物品購入や業務委託等についても、地元企業への優先発注に努めている。</p>	<p>建設工事の発注状況 (企業局契約分を除く) ①中小企業への発注件数及び全件数に対する割合 8,782件、98.9% ②中小企業への発注金額及び全金額に対する割合 37,310千円、84.8%</p>	
	<p>② 指定管理者選定における地元優遇 指定管理者選定に当たって、地元団体への加点制度を導入している。また、指定管理業務の再委託について、地元企業に優先発注するよう要請している。</p>	指定管理を行っている56者のうち、中小企業者(同規模の社会福祉法人・公益財団法人等を含む)は45者	
(9) その他の 中小企業振 興事業	<p>① 地元製品・街かどショールーム 北九州エコプレミアムや北九州オンリーワン企業・トライアル発注制度等に認定された優れた地元企業の製品を、市民に身近な場所で展示しPRすることで、地元企業の認知度向上や製品の利活用拡大を目指している。</p>	<p>実施回数：2回 展示場所 福岡銀行 西日本総合展示場 新館(エコテクノ2014)</p>	2,723千円
	<p>② 北九いいと 新商品開発に意欲的な北九州市内の食品製造業者と共に、「北九州らしい、オリジナル商品の開発と販売」を通じて、街の魅力向上と市内企業の活性化を目指している。(食品ブランディングプロジェクト)</p>	<p>総売上：21,975千円 新規雇用者数：24名 参加企業 7社</p>	3,849千円
	<p>③ 産業用ロボット導入支援 「産業用ロボット導入支援センター」の専門家による導入支援や、産業用ロボット導入支援補助等を通じて、地元企業のものづくり力(競争力)の強化を図っている。</p>	<p>企業訪問・技術相談回数 ：215回 ロボット道場：5回 産業用ロボット導入支援補助金：3社</p>	24,215千円
	<p>④ リノベーションまちづくり 都心部の遊休不動産をリノベーションの手法を用いて再生することで、産業振興、雇用創出、エリア価値の向上などを図っている。</p>	<p>事業化物件 8件 新規雇用者数 122名</p>	12,042千円